

ある音楽家

何にもない、まごついちゃった
せいぜい、古ぼけた名曲を
ぴかぴかに磨き上げるが関の山
新奇を求めれば、やたらめったら
愚にもつかぬ雑音ばかりが積み上がる
色彩もなく香もないガラクタばかり
俺の魂をオルフェウスに売ってもいいが
それさえ空っぽになっちゃって
さんざんの底値にたたかれるは必定
何にもない、まごついちゃった

(1982.4.25)